



第18回「バラまつり2024」。天気予報がころころと変わり当日も曇空で、朝の準備から心配してのスタートとなりました。しかし、午前10時の開催スタートのアナウンスと同時にレストハウス屋上から「こいのぼり」が大池の上に泳ぎ出すと来園者から大きな歓声が聞こえてきました。

お餅つきも順調に進みいざ販売という所で、空からポツリと雨が・・・

でも、全くいたことなくステージイベントも順調に開催することができました。ご参加いただきました地域の皆様、本当にありがとうございました。

フィナーレでは、出演者全員とつづきあいちゃんとつづきたいちゃんも加わり楽しく元気いっぱいでの終ることができました。



バラまつり 2024

今年の「ローザ・つづきく」の開花はといいますと、他の花々が開花が遅れたり、早まつたりで心配させられましたが、開催日に咲き終わること無く、綺麗な淡いピンク色の花をつけてくれていてほっとしました。ご来賓でお越し頂いた、都筑区長佐々田様も少し心配をしてくれていたようでした。用意したフランクフルトやピザも完売し、竹細工製品の色付けにも多くのお子様が参加してくれました。

このように、少し心配した「バラまつり2024」ですが無事開催出来、多くの来園者の方々にも喜んでいただけたものと、確信しています。前日から当日朝早くから準備していただきました皆様方にも心より感謝申し上げます。

また、秋の「里山まつり」がんばりましょう。
事務局 K.M

ジュニアクラブ 初夏の観察会 18日 Sat



ジュニアクラブの定例観察会。5月は野いちごを見つけにフィールドへくり出します。毎年、野いちごのできはよくわかりません。年ごとに天候が異なるので、実がなるタイミングは予想できません。なかなか良い思いができないのが、この野いちご観察会です。たっくさん採って、ジャムを作りたいところですが、思うようにいったことがありません。

5月にしては気温が高く、汗ばむ陽気でしたが、今年も期待して多くのジュニアが参加しました。

いつものコースをユルユルと散策しながら、野いちごを求めて園内を歩きます。ポイントに着くと、実を探しに藪の中もかまわずに、ゴンゴン入って行って、探し回りました。

クサイチゴもナワシロイチゴも既に終わってしまったのか、それとも元々、あまり実が成らなかったのか、満足な数が取れません。自然のままで手を入れないようになっているのですが、これからは考えなければいけなくなってきたのでしょうか？花はたくさん咲いていたのに実が少ないのは、受粉が出来ていないからでしょうか？もし、受粉が十分でないのであれば、今年から始めたミツバチさん達に期待したいですね。

清水谷戸のマルベリー、桑の実はたくさん成っていましたが、少し早かったようで色が薄く、まだまだこれからのようなようでした。それでも熟した実を求めて男の子も女の子もみんな上へ上へと上っていました。これから変化を楽しみたいと思います。

親子自然体験部会 T.H

